

【平成24年度以前入学生】

○学芸学部

学芸学部は建学以来、『「高い知性」と「豊かな情操」を兼ね備えた社会に貢献できる女性の育成』を目指してきた。現在、表現文化系の国文学科、国際英語学科と、生活環境系の健康栄養学科、被服学科、インテリアデザイン学科、ライフプランニング学科の6学科構成となっている。それぞれに特色のある学科を設置しており、広い視野と深い教養をもった女性を育成することを目的としている。入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、以下のアドミッションポリシーに基づいて、学科ごとに選抜を行っている。

【国文学科】

高等学校で履修する国語の教科を通して、文学や日本語に関する基礎的、基本的な知識を習得し、新聞の論説文、もしくはそれと同程度の文章を理解する能力や、そこから思考する力、判断する力などを身につけている者。また、広く日本文化(古典文学・近代文学・書道・芸術・文芸創作・キャラクター小説、漫画、アニメ、ゲームなどのコンテンツ創作など)に興味、関心があり、文学に対する高度な知識と言語運用能力、多彩な表現力を学習し、創作することに意欲を持っている者。

【国際英語学科】

高校において基礎的な英語力を身につけ、情報や相手の意向を理解したり、自分の考えを表現できる能力を持つ者。

- ・英語に強い関心を持ち、大学入学後も自分の英語力・言語能力を向上させたいと思っている者。
- ・国際文化・日本文化に興味があり、多角的な視点をもって異文化を深く理解し受け入れようとする意欲のある者。
- ・海外・国内を問わず、将来自分の英語力を生かした職業に就きたいと考えている者。
- ・英語を自分の言葉として、他者と積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲のある者。

【健康栄養学科】

健康栄養学科の各専攻で勉学することを強く希望し入学を志す者。健康と栄養(食物)の関わりについて熱い想いを持っている者。一定の基礎学力(特に高等学校「化学」「生物」「家庭科(食物)」において)を有し、学ぶことに意欲と情熱を有しており、健康栄養学科で能力を伸ばす可能性のある者。

管理栄養士専攻... 将来、管理栄養士として活躍するために、入学後、何を勉強するのか明確な目的意識を持っている者。

食物栄養専攻... 将来、食に関する職業人として活躍するために、入学後、何を勉強するのか明確な目的意識を持っている者。

【被服学科】

被服学科は、「ファッション」および「美」に関する広範な専門知識を有し、化粧・美容を含むファッション関

連産業において活躍し、また社会に貢献できる人材の育成を目的とする。そのため被服学科では、次件を満たす学生を求める。

- ・被服やファッションに強い関心を持ち、被服学専攻での学習を強く希望する者。(被服学専攻)
- ・化粧・美容やファッションに強い関心を持ち、化粧学専攻での学習を強く希望する者。(化粧学専攻)
- ・高校における学業成績が優秀(各教科を偏りなく履修し、中程度以上の成績)であり、創造的・積極的な学習態度を持つ者。
- ・高校生活において充実した体験(課外活動や作品制作など)を有する者。
- ・志望の動機が明確で、大学において能力を伸ばせる可能性のある者。
- ・大学で学んだことを活かして社会に貢献したいと考えている者。

【インテリアデザイン学科】

空間・環境・生活のデザインに強い関心と意欲を持ち、「ものづくり」に興味がある者。

- ・「住まい環境」「インテリア」「ディスプレイ」の3コースの何れかで、専門的なデザイン理論と技術を習得したいと希望する者。
- ・高校での学業成績が優秀で、入学後も真摯な学習態度を持ち続けることのできる者。
- ・高校での学習において、特に美術や造形の分野の科目に興味を持って取り組んだ者。
- ・大学で学んだ知識と技術を生かして、将来社会で活躍する意欲と情熱を持つ者。

【ライフプランニング学科】

本学科が求めるのは、「家計」に学問的・実践的な興味関心を抱き、本学科での学びを通して得られる幅広い教養と専門的知識を家庭経営や社会参加に役立てることを強く希望している学生である。

特に、家庭において家計に関する知識・スキルを活用することを希望する者、金融や保険その他の職業において資産運用に関する知識やスキルを必要とする者、地域社会においてこれらの知識・スキルを活用しようとする意思のある者、また、そうした学びの基礎となる簿記や会計などの知識を既に有する者の入学を歓迎する。

○心理学部

心理学部では、人間の心理や行動を理解するための知識や技術を幅広く学習する。家庭や学校、職場、地域社会でおこる様々な問題を理解し、心身の健康の維持と増進に寄与できる、高度な知識と能力を身につけた人材の育成を目的としている。入学者選抜にあたっては、知識と技術を習得するための基礎的学力に加えて、高い専門性を追求する目的意識と資質を有している者を受け入れる。

【臨床心理学科】

人の心と行動に強い関心を持ち、心理学を活かして社会に役立ちたいと考えている者の育成を目指す。臨床心理学は、目に見えない心の世界を探求する学問である。様々な年齢の人々、問題や悩みを抱え

ている人、そして自分自身に対する理解を深めたいと思う人たちを求める。人の心と向き合うのに“これで完璧”ということはありません。相手の気持ちを想像する自由な発想や、あきらめずに対応できる力を養うことが大切である。高校生の中に特別な資格や科目の学習は必要としないが、謙虚に粘り強く学ぶ姿勢を身につけておいて欲しい。

【発達教育心理学科】

人の心と行動に強い関心を持ち、心理学を活かして社会に役立ちたいと考えている者の育成を目指す。発達教育心理学は、人の成長・発達と心の変化との関係や、人の心に寄り添う気持ち、といった心の不思議に迫る学問であり、人間関係に深く配慮できる人材を育てることが当学科の目標である。高校生の中に国語の力(文章を読み取る力、言葉で表現する力など)や心の問題と深くかかわる芸術に対する感性、鑑賞する力をつけておいて欲しい。教職を目指す学生においては、社会で生きる人達の動きに着目することも求められる。

【ビジネス心理学科】

人の心と行動に強い関心を持ち、心理学を活かして社会に役立ちたいと考えている者の育成を目指す。「心理学を仕事にどう活かすか？」を考えることが当学科の目標である。人の心を動かすとはどういうことか、個人や集団の行動を知るためにはどうしたら良いのか、などに関心のある人を求める。高校生の中に社会的な場面での自分の行動を客観的に眺めることから始め、様々な角度から物事を見る訓練をして欲しい。興味関心の幅を常に広げ、社会に役立つことを考えたい、という気持ちも求められる。

○児童学部

児童学部では、児童学における知識と能力を習得し、教育・福祉の実践現場に対応できる能力を育てることを目指している。

児童学部における入学者選抜の考え方としては、子どもおよび教育・福祉についての知識、スキル、考え方などを習得するための資質や素養を有している者を受け入れる。

【児童学科】

子どもの心身の発達および教育や保育に強い関心を持ち、かつ専門的な子ども研究を通して人間理解を深めようとする者。子どもへのしなやかな感性を持ち、子ども育成のスペシャリストを目指す者。

子ども芸術表現コース…子どもの創造力を育てる音楽・造形・身体表現を、体系的に理解し、実践しながら学ぼうとする者。

子ども心理教育コース…成長する子どもの心と体を理解し、親子にアドバイスする専門知識と技能を学ぶ意欲のある者。

臨床保育・福祉コース…特別支援を必要とする子どもや、育児不安を抱える保護者をサポートする技や知識を習得する意欲のある者。